

がん遺伝子パネル検査

がん遺伝子パネル検査とは？

「がん細胞」に起きている遺伝子の変化を調べ、その特徴を知ることによって、患者さんに適した治療法を検討する検査です（以下、パネル検査）



対象

がん薬物療法(抗がん剤治療)ができる体力(軽い家事や事務作業ができる状態)があり、

標準治療がない固形がん

標準治療が終了となった固形がん（終了が見込まれる方を含む）

※固形がん・・・血液がん以外のがん

検査費用

保険が適応されるので高額療養費の対象となります（詳細は別紙参照）

検査を受けるメリット

- ・ 遺伝子の変化に合わせた治療法が選択できる可能性があります
- ・ 検査の結果はがんゲノム情報管理センター(C-CAT)のデータベースに集約され、集約された情報は、将来のがん研究や医薬品などの開発に役立てられます(任意)

注意点

- ・ パネル検査を受けるためには、検体(検査によっては採血も)が必要です
- ・ 必ず遺伝子の変化が見つかる訳ではありません
- ・ 遺伝子の変化が見つかって、効果が期待できる薬剤が見つからない可能性があります
- ・ 薬剤が見つかって、国内で承認されていない等で、治療を受けられない・治療費が高額になる可能性があります(実際に検査結果に基づいた治療が受けられる方は10～15%程度とされています)
- ・ ご家族(血縁者)の健康に影響を及ぼす可能性のある、遺伝性の病気が見つかる可能性があります



検査の流れ

初回
外来

パネル検査をご希望の方は
担当医に申し出てください。
担当医からパネル検査について
説明します。



1週間後

がん細胞を含む検体を準備します
※検体に含まれるがん細胞の割合が少ないと
パネル検査に進めません



2回目
外来



担当医からパネル検査の対象の可否を
説明します。
パネル検査を実施する場合、
担当医がパネル検査を申し込みます。
※追加で採血が必要な場合もあります

約2か月

検体が院外の検査会社に送られ、
遺伝子解析が行われます。



遺伝子解析の結果は、様々な分野の専門家
によって構成された会議(エキスパートパネル)で、
一人ひとりの患者さんに適した治療法が
検討されます。



3回目
外来



エキスパートパネルの報告書の内容を
担当医から説明し、今後の治療方法に
ついて相談します。

<問い合わせ先>

平日 8:30~17:00

②よろず相談

電話: 055-989-5710 (直通)